

経済学会第 596 回例会

2020 年 10 月 21 日

Regime Switches in Japanese Trend Inflation:

A Regime-Switching New Keynesian DSGE Approach

西山 慎一

報告要旨

本研究では、Ascari and Sbordone (2014)で提案された一般化されたニューケインジアンモデルを採用し、トレンドインフレ率が正の値を取ることを許容する DGSE モデルのもと、日本の長期マクロデータ（1958 年～1997 年）を用いて過去のトレンドインフレ率を推計する。過去のデータでは、日本のトレンドインフレ率は一定とは言えないため、本研究ではレジームスイッチ型 DSGE モデルを採用し、日本のトレンドインフレ率がどのように変化してきたかを報告する。